

4つの柱に基づく事業展開 (2)おもてなし





おもてなし大作戦



伊勢志摩サミットの開催にあたって三重県を訪れる方々に、県民の歓迎の意を表現するとともに、一人でも多くの県民が来訪者歓迎に関わることにより、サミットに向けた機運醸成や参加意識の向上を図るため、県民参加型の「おもてなし大作戦」を展開しました。



「おもてなし大作戦」キックオフイベント(H28.2.14 志摩市)



「花いっぱい作戦」スタートセレモニー(H28.4.2 桑名市)

クリーンアップ作戦

きれいな街でおもてなしする活動です。

◆活動事例

H28.3.12
鈴鹿川クリーン作戦



花いっぱい作戦

おもてなしの心と美しい花々で歓迎する活動です。

◆活動事例

H28.4.23
於:道の駅
「伊勢志摩」



サミット開催直前の平成28年5月下旬までの間、県内各地で6万人以上の方がクリーンアップ作戦に参加し、11万本以上の花が県内各地で飾られました。



外国語案内ボランティア



伊勢志摩サミットの開催に際して、三重県を訪れる外国人報道関係者の方々を、おもてなしの心で歓迎し、円滑な取材・報道活動を行っていただくため、国際メディアセンター(三重県営サンアリーナ)や県内主要駅に設置したインフォメーションセンター等で、外国語による交通や観光等の案内及び三重県の情報発信等を行った。



語学研修

○活動場所

国際メディアセンター、中部国際空港、名古屋駅、津駅、津なぎさまち松阪駅、伊勢市駅、近鉄宇治山田駅、近鉄五十鈴川駅、鳥羽駅、近鉄鶉方駅のインフォメーション

○活動人数

277名 (応募者:1,003名)

○研修

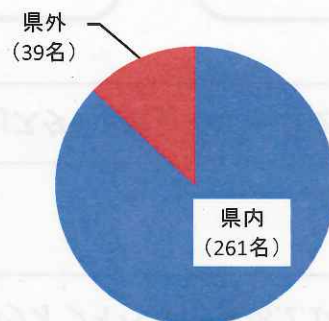
平成28年2月～4月
語学研修2回、接遇研修1回受講(必修)

○結団式 平成28年5月15日

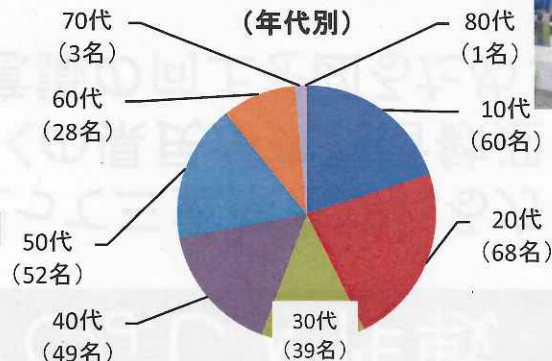
○活動期間 平成28年5月20日～5月28日

○解散式 平成28年6月11日

ボランティア内訳
(居住地別)



ボランティア内訳
(年代別)



観光・交通案内デスク
(国際メディアセンター内)



伊勢志摩サミットフォーラム



第1回 平成27年9月5日(土) @志摩市



【講演】

「伊勢志摩サミットに期待すること」
滝崎成樹氏(外務省大臣官房伊勢志摩サミット準備事務局長)

【トークセッション】

山谷吉宏氏(北海道副知事)
ロビン・ハーディング氏(フィナンシャルタイムズ東京支局長)
江崎貴久氏(海島遊民くらぶ代表)
鈴木英敬伊勢志摩サミット三重県民会議会長(三重県知事)

第2回 平成28年1月16日(土) @鈴鹿市



【講演】

「伊勢志摩サミットのレガシーを生み出す“おもてなし”戦略とは」
中村好明氏(ドン・キホーテグループJIS代表取締役社長)

【トークセッション】

山田文比古氏(東京外国語大学教授)
ラース・ニコライゼン氏(ドイツ通信社東京支局長)
清水慎一郎氏(清水清三郎商店株式会社代表取締役)
森川徹氏(外務省大臣官房報道課長)
中村好明氏(ドン・キホーテグループJIS代表取締役社長)
鈴木英敬伊勢志摩サミット三重県民会議会長(三重県知事)

第3回 平成28年4月16日(土) @津市

【講演】

「英国人アナリスト、三重の未来を語る」
デービッド・アトキンソン氏
(株式会社小西美術工藝社代表取締役社長)

【トークセッション】

高野秀行氏(ノンフィクション作家)
田中里沙氏
(株式会社宣伝会議取締役副社長・編集室長)
寺岡夕里氏(東北大学大学院生)
デービッド・アトキンソン氏
鈴木英敬伊勢志摩サミット三重県民会議会長
(三重県知事)



伊勢志摩サミット公認サポーターの
平井堅さんも登場！！



カウントダウンボード



県内外の皆様にサミット開催に興味を持っていただくとともに、サミット開催を広く知っていただくため、カウントダウンボードを設置した。

カウントダウンボード設置場所と台数

県民会議による設置	
各鉄道駅 (JR東京駅、近鉄難波・京都・名古屋、県内主要駅 など)	15台
外務省、内閣官房、IMC、県内市町、職員派遣元企業、県関係機関 など	77台
その他(伊勢神宮 など)	13台
協賛、応援事業による設置	
各企業・団体様による制作・設置	439台

計:544台



伊勢志摩サミット東海会議
カウントダウンボード除幕式(H28.2.16)
(於:JR名古屋駅)



協賛、応援、寄附



寄附金申込実績

525,655,282円

内訳	法人	499,377,271円(605件)
	個人(一般)	25,465,538円(140件)
	個人(クラウドファンディング)	812,473円(248件)

2016年 初日の出フライト～飛行ルートマップ

ANA2811便「初日の出号」(平成28年1月1日)



伊勢志摩サミット開催記念 ANA初日の出フライト

協賛、応援事業申込実績

1,042件

内訳	協賛	199件
	応援	843件

(協賛、応援事業の例)

- ・各種イベント等での飲料水、食糧の提供
- ・クリーンアップ作戦への人的・物的サポート
- ・花火大会、ヒストリックカーイベント等でのサミットPR
- ・アマチュア無線通信、イルミネーションでサミット歓迎を表現
- ・サミット開催記念商品の発売(ビールから工業製品まで)
- ・伊勢志摩女性サミットの開催



麒麟ビール
伊勢志摩サミット開催記念デザインラベル 51

4つの柱に基づく事業展開 (3) 明日へつなぐ



伊勢志摩サミット
三重県民会議



「2016年ジュニア・サミットin三重」



開催結果



写真提供:2016年ジュニア・サミットin三重事務局

「2016年ジュニア・サミットin三重」は、国主催の伊勢志摩サミットの関連行事として、4月22日から28日まで、桑名市を主会場として開催されました。G7各国から集まった若者28名が、三重県が提案した「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」を討議テーマとして議論し、意見をまとめ、成果文書「桑名ジュニア・コミュニケ」を安倍内閣総理大臣に届けました。

伊勢志摩サミット三重県民会議では、開催期間中、ジュニア・サミット参加者が三重県の魅力に触れるとともに、三重県の子ども達と交流する機会を提供しました。

ジュニア・サミットへの県民参加

1 県内の児童・生徒等の参加 (計 42校・園、518名)



花のプランターづくり
(県内農業高校6校)



県内分散型体験・交流行事



セレモニーでの吹奏楽演奏(県立白子高校)



2 県民の参加

サポートデスク(将棋・通訳ボランティア等)





多様な主体による国際理解・国際交流



国際理解・国際交流プログラム

伊勢志摩サミット三重県民協議会
平成28年度

国際理解・国際交流プログラムのご案内

平成28年度は、9月27日（土）に、本協議会主催「伊勢志摩サミット」が開幕し、伊勢志摩サミット三重県民協議会では、サミット開催を契機として、県内各小学校・中学校・高等学校において国際理解を深めるための、多岐にわたる国際理解・国際交流プログラムを実施します。

小・中学校、高等学校、特別支援学校の各学年・各クラスにおいて、サミット開催にちなみ、各学年・各クラスに、サミットに関する学習教材を配布し、学習の機会を創出し、国際理解を深め、サミット開催を盛り上げます。

また、ご参加ください。なお、本プログラムは、（主催）三重県民協議会が、伊勢志摩サミット三重県民協議会から委託して実施します。

お問い合わせ先：事務局 伊勢志摩サミット三重県民協議会事務局

学年	実施内容	実施時期	実施場所
小1	伊勢志摩サミットについて学ぶ	7月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
小2	伊勢志摩サミットについて学ぶ	8月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
小3	伊勢志摩サミットについて学ぶ	9月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
小4	伊勢志摩サミットについて学ぶ	10月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
小5	伊勢志摩サミットについて学ぶ	11月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
小6	伊勢志摩サミットについて学ぶ	12月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
中1	伊勢志摩サミットについて学ぶ	1月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
中2	伊勢志摩サミットについて学ぶ	2月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
中3	伊勢志摩サミットについて学ぶ	3月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
高1	伊勢志摩サミットについて学ぶ	4月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
高2	伊勢志摩サミットについて学ぶ	5月	伊勢志摩サミット三重県民協議会
高3	伊勢志摩サミットについて学ぶ	6月	伊勢志摩サミット三重県民協議会



学校などに、サミット参加国に詳しい講師を派遣し、サミット参加国について、理解や交流を深めるプログラムを実施
 平成27年度は91回 約3,030人を対象に実施(申込は196回分)
 平成28年度は30回 実施予定(申込は56回分)

参加国紹介等パネルの展示

サミット及び
サミット参加国紹介 I

第5回 東京サミット 1979

時の商品・新製品

- 群馬産果物
- しやべり自動販売機
- 電子化放送住宅ローン
- 使い捨てカイロ

流行語

- 開成学園
- ツワガ小僧
- 幼女
- キーホルダー
- 夕焼け歌
- 省工業

世相・生活・ニュース

- 第2次石油ショック
- インベーダーゲーム大流行
- 初の国立立寄橋一次試験
- 第1回東京国際女子マラソン

経済

- 1979年10月 6,569.47円
- 1979年11月 240.65円
- 1979年12月 109.500円
- 1979年12月 103.700円

サミットやサミット参加国を紹介するパネルを作成し、様々なイベント等で展示

イチからわかる！サミット塾

〔外務省主催〕



外務省職員が県内小中高等学校で、サミット等について講義。平成27年度29校 約4,600人超の児童・生徒を対象に実施。

子育て応援！わくわくフェスタへの出展



サミットやサミット参加国への理解を深めるため、国旗のパズルやサミット開催に向けたカウントダウンボードづくりを実施。



2016大学生国際会議in三重(UNICOM:ユニコム)



2016大学生国際会議in三重(UNICOM:ユニコム)の開催

サミットの開催成果を確かな資産として「明日へつなぐ」ため、県外大学生や留学生が三重に集い、県内高等教育機関の学生や留学生と共に、サミットに関するグローバルなテーマ等について討議を行う大学生版のサミットを開催し、サミット開催地・三重県が次世代グローバル人材育成のメッカとなることを目指す。

概要

- (1) 期間 平成28年8月31日(木)～9月3日(土)3泊4日
 (2) 主催 伊勢志摩サミット三重県民会議
 一般社団法人KIP知日派国際人育成プログラム
 (3) 場所 伊勢市及び南伊勢町
 討議・宿泊会場:「神宮会館」(伊勢市)「海ぼうず」(南伊勢町)

(4) 主な内容

- 開会式 ○知事講話「未来を担う若者たちへ」
- 伊勢市内視察(外宮、せんぐう館、内宮)
- 伊勢市内視察(分散型)
 神宮神田・御塩浜、岩戸の塩工房、神宮徴古館、おはらい町、おかげ横丁、伊勢河崎商人館、伊勢古市参宮街道資料館、麻吉旅館 など
- 討議Ⅰ テーマ「～地域資源を活用した地方創生～『ふるさと納税は地域活性化や地域のためになるのか』」
- 南伊勢町内視察(分散型)
 みかん(ないぜしぜん村・農事組合法人土実樹)、干物(有限会社山藤)、小麦栽培・獣害対策(河内地区)、スナップエンドウ(伊勢農協南勢・南島育苗センター)、アサリ養殖(五ヶ所湾アサリ研究会ほか)
- 討議Ⅱ テーマ「～地場産業とグローバル社会～『貿易の自由化は促進されるべきか』」
- 総括討議 テーマ「三重県における地域活性化の方法とは」
 ・三重のみかんを日本一にするブランディングとは
 ・三重への若者観光客のリピーターを増やすには

(参加者の感想)

- ・大変貴重な経験となった
- ・色々な考えに触れることで自分の視野が広がった
- ・現場の生の声が聞け、良かった



県内外の学生・留学生約80名が参加



伊勢市では地域資源を活用した現場を視察



南伊勢町では第一次産業の現場で体験学習



討議では様々な意見が出され、活発なやりとりが行われた



伊勢志摩サミット記念館(仮称)



サミットの開催を記念し、サミットの様子や使用された調度品・県産材等の紹介を行うなどにより、伊勢志摩サミットの足跡を後世に残すものとして、伊勢志摩サミット記念館(仮称)を設置する。

「明日へつなぐ」事業として、子どもたちの学習機会の場となるような展示や、動画等の要素も勘案した記念館とする。

1 設置時期

サミット開催1年後までの適切な時期に設置。

2 設置場所

○伊勢志摩サミット開催を象徴する場所

○既存の建物を活かせる場所

○多くの人に訪れていただける場所

を念頭に検討し、近鉄賢島駅2階に設置することを決定。

※記念館の運営は志摩市において実施する。



3 展示内容

○首脳会議等での調度品、三重情報館での展示品を中心に選定。

○物品の展示に加え、動画の利用等、動的な要素も盛り込む。

○首脳会議で使用した円卓・椅子等を展示。

4つの柱に基づく事業展開 (4) 三重の発信



伊勢志摩サミット
三重県民会議



海外への情報発信



海外プレスツアーの実施



県民会議主催、外務省招へい等含め**22回**実施
世界**36ヶ国**(地域)のプレスが三重県取材



フランスの一流シェフほか世界の著名人が訪県

海外メディアの取材

フィナンシャルタイムズ・ニュースウィーク・
BBC・ロイター・PBS・ARDドイツTV 他



世界のオピニオンリーダー、富裕層やビジネス層を中心
に三重県の魅力をPR

海外メディアへの記事広告等掲載

ウォール・ストリート・ジャーナル・AP通信社・
フィナンシャルタイムズ 他

Welcome to the spiritual heart of Japan



TRADITION AND INNOVATION BEHIND THE ECONOMIC REVOLUTION OF MIE PREFECTURE, HOST OF THE 2016 G7 SUMMIT

"I think that the four important elements that double investment are economic growth, a safe and efficient society, a high quality of life, and a vibrant human resource. And I think that Ise Grand Shrine is the best place to see the strength of Mie Prefecture."

...to be an overall strategic investment from the local companies. He has also focused on the public-private partnership that supports an ever-growing private sector. ...

...to be an overall strategic investment from the local companies. He has also focused on the public-private partnership that supports an ever-growing private sector. ...



三重県PR動画



伊勢志摩サミット開催を契機として、主に都市圏の人々及び訪日外国人をターゲットに、三重県を印象づけ、興味を持っていただけるよう、「伝統と革新が共存する場所、三重」をテーマに30秒の三重県PR動画を制作。

《放映予定場所一覧》

地域	放映場所	放映期間
首都圏	JR品川駅	5月23日～29日
	JR東京駅	5月1日～31日
	京成電鉄 成田スカイライナー	5月1日～31日
中部圏	セントレア	3月1日～5月31日
	名鉄名古屋駅	5月23日～29日
関西圏	関西国際空港	5月1日～31日
その他	県民会議HP及び Youtube	3月1日～

《動画場面抜粋》



県民会議への協賛として、

- ・ANA国内線機内VTR
- ・四日市スーパービジョン(近鉄四日市駅前)

等でも放映された。



伊勢志摩サミット三重県民会議 公式ホームページを立ち上げ、5カ国語対応(日・英・独・伊・仏)で県民会議の取組等を発信してきた。

《開設期間中のページビュー数》

平成28年2月17日～5月27日の間のページビュー数は以下のとおり。

【通算ページビュー数】

約 61万ビュー

【日当たり最大ページビュー数】

平成28年5月25日

約 4万3千ビュー

【国内市区町村別ランキング】(5月末まで)

1位 名古屋市 …… 約8万ビュー

2位 大阪市 …… 約7万ビュー

3位 東京都港区 …… 約4万ビュー

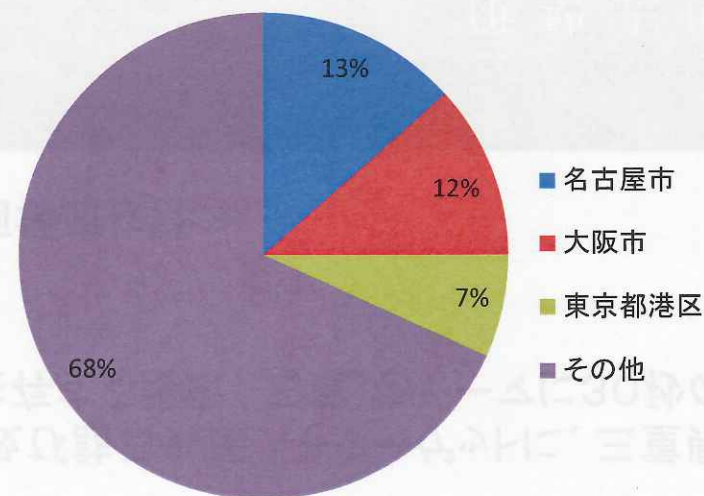
※三重県は津市が3万ビューで6位

【海外での閲覧】

日本での閲覧がほとんど(98.88%)であったものの、海外報道機関の方に日本国内で多数閲覧いただくことができた。

(5月25日に日当たり最大ページビューを記録)

市区町村別閲覧数の割合





首都圏におけるPR



1 伊勢志摩サミット開催レセプション ～三重へのいざない～

昨年10月27日(火)、外務省飯倉公館において、三重の地に静かに息づく自然や伝統と、世界をリードし未来を動かそうとする革新の技を、【日本の原風景・心のふるさと三重】、【常に新しく、未来を生み出す三重】の2つのテーマで展開し、駐日外交団、駐日商工会議所、外国プレス等の方々に、サミット開催地三重の魅力・ポテンシャルを体感していただいた。



2 首都圏における知事ブリーフィング

外務省飯倉公館での伊勢志摩サミット開催レセプションを皮切りに、国内外のメディアに対し伊勢志摩サミットとサミット開催地である三重県・伊勢志摩のPRを行った。

国内報道機関を対象とした
三重県知事会見

日時:平成27年11月11日(水) 15時30分から
場所:日本記者クラブ(東京都千代田区)

- 三重県の最近の動静
- 三重県の紹介(伊勢志摩国立公園、神宮、賢島等)
- 伊勢志摩サミットに向けた三重県の取組

海外報道機関を対象とした
三重県知事ブリーフィング

日時:平成27年11月18日(水) 12時から
場所:日本外国特派員協会(東京都千代田区)

- 三重県の魅力発信
- 伊勢志摩サミットに向けた三重県の取組



平井堅さんが三重県の伊勢志摩サミット公認サポーターに



- ・地元への熱い想い
- ・全国的な知名度の高さ
- ・海外での活動経験を生かした、伊勢志摩サミットや開催地三重県の全国的なPR

4月30日から、応援ソング「TIME」による伊勢志摩サミットPRを開始！



県民会議シンボルマーク



伊勢志摩サミット
三重県民会議

シンボルマーク作成にあたっては、北勢きらら学園在校時の作品が2008年の北海道洞爺湖サミットのロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤敦也さんに依頼。北海道洞爺湖サミットの経験を伊勢志摩サミットの成功と三重県の明日へつないでいく、また、多様な主体に参画いただくことを、県民会議からの強いメッセージとして発信。

作者コメント

手を繋ぐ2人で、次世代へのつながりを表現しています。

波線は、世界の人々と三重県の人々のつながりのタスキを表現しています。

サミットで培われたあたたかなつながりを次世代へ受け継いでいこうという決意を込めています。



シンボルマーク決定 (H27.10.13)
(於:伊勢志摩サミット三重県民会議第2回総会)

国ロゴマーク



伊勢志摩サミット開催150日前の平成27年12月28日、伊勢志摩サミットのロゴマークが政府より発表されました。7,084件の応募の中から大分県の高校3年生の作品が最優秀作品に選出されました。中央の赤い丸は日の丸を、周囲の桜の花びらはサミットに参加する7カ国を表し、背景には伊勢志摩の美しい海が表現されています。その他、優秀作品が5作品選出され、そのうち2作品が三重県内の学校の生徒の作品でした。



県民会議公式ポスター



三重県での伊勢志摩サミット開催や県民会議の活動をPRするため、計画的にポスターを展開した。

第1弾



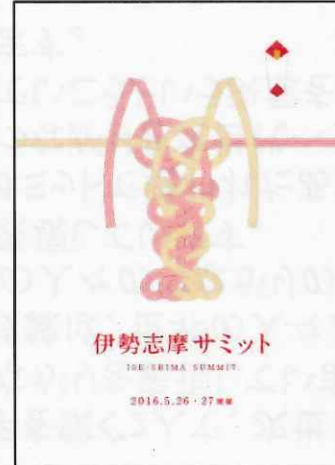
サミットが伊勢志摩で開催されることをPRするため作成。

第2弾



県民会議の象徴となるシンボルマーク決定をPRするため作成。

第3弾



テーマを「サミット開催に向けてのおもてなしの心」として、広く全国から募集し作成。

第4弾



テーマを「三重から世界へ(三重の魅力の発信)」として、広く全国から募集し作成。

第5弾



テーマを「明日へつなぐ」とし、サミット開催にあたっての御礼と、「つぎの三重」に活かしていくことをメッセージとして発信するために作成。

第4章

第4章 ポストサミットに向けて



伊勢志摩サミット
三重県民会議



サミット開催決定による効果①



<p>三重県</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直接効果：三重県で約483億円(全国で約1,070億円) ・パブリシティ効果：約3,098億円 国内：新聞約148億円、雑誌約4億円、テレビ約1,160億円、インターネット約563億円 海外：新聞・雑誌約133億円、テレビ約630億円、インターネット約461億円 ・ポストサミット効果：5年間で約1,489億円 県外観光客数の増加による効果 約1,485億円、国際会議の開催件数の増加による効果 約4億円
<p>百五経済研究所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直接効果：三重県で130億円(全国では510億円) ・ポストサミット効果：5年間で1,110億円増 外国人観光客数の増加による効果 185億円(年間) 国際会議の開催件数の増加による効果 37億円(年間) (参考)国内観光客数の増加による効果 495億円(年間)
<p>中部圏社会 経済研究所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直接効果 <ol style="list-style-type: none"> ①経済効果(生産波及効果)：三重県で328.6億円(全国で1,078.6億円) ②粗付加価値誘発効果：三重県で173.4億円(日本全体で528.9億円) ③雇用誘発効果：三重県で2,660人(日本全体で7,365人) ・ポストサミット効果：5年間で1,194.2億円増 国内外の観光客数の増加による効果
<p>大和証券</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光消費額が5年間で累積1,750億円増 (洞爺湖サミットは約122億円。 奈良県と同程度の訪日外国人／日本人比率を想定。県の訪日外国人観光消費額が平成25年の22億円の17倍の369億円程度、2020年には倍の700億円程度と期待。)

※北海道洞爺湖サミット時の調査では、①直接的な効果(生産波及効果)は約350億円(北海道内)、②パブリシティ効果は約1,013億円、③ポストサミット効果は約283億円。



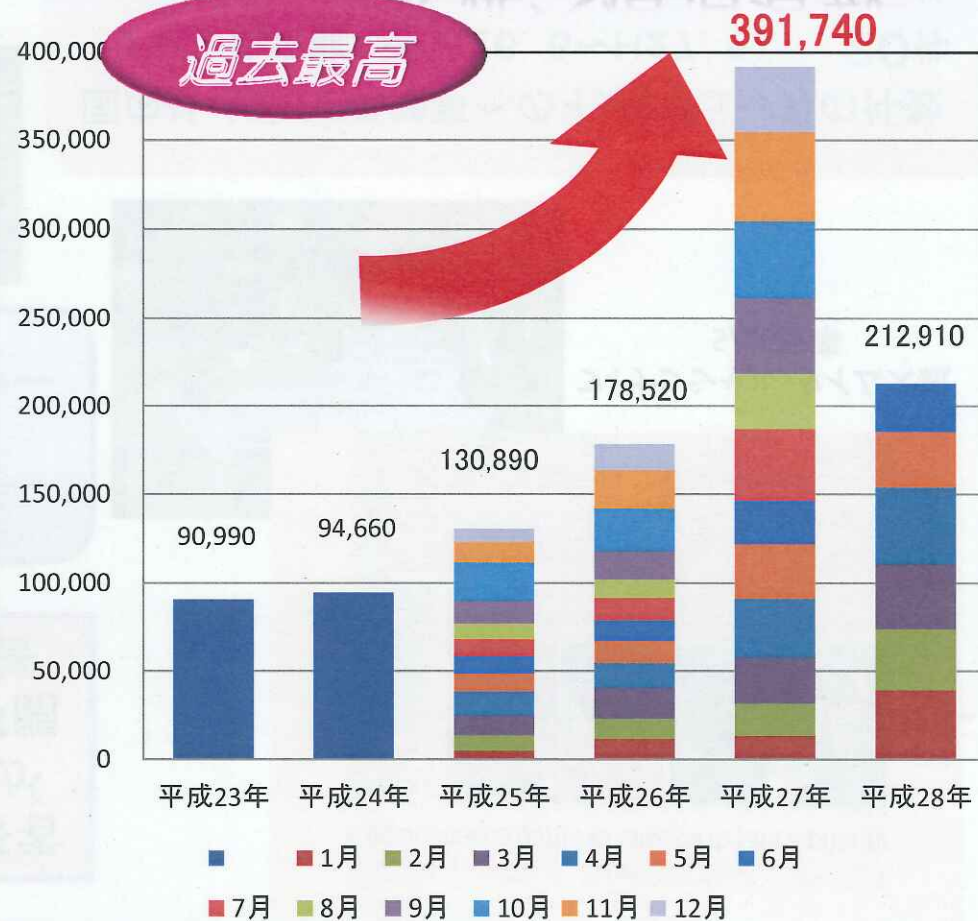
サミット開催決定による効果②



延べ宿泊者数 (国内外全体)



外国人延べ宿泊者数



◆平成26年 8,794,360人泊
◆平成27年 9,458,820人泊
対前年同期比 7.6%増

対前年伸び率
H27下期 8位!
(7-12月) (上期42位)

対前年伸び率
H27通年 2位!
下期 1位!
(7-12月) (上期8位)

◆平成26年 178,520人泊
◆平成27年 391,740人泊
対前年同期比 119.4%増

引き続き、好調!

H28. 1-6月期
対前年伸び率(速報値)



延べ宿泊者数 1位! 外国人延べ宿泊者数 4位!



サミット開催決定による効果③



三重県への注目度が急上

国内外のメディアからの取材も増加

「2016年に注目されそうな都道府県」 **第2位**

出典:アットホーム(株)

順位	都道府県
1	東京
2	三重
3	北海道
4	大阪
5	沖縄

三重県を選んだ回答者のうち、約9割の方が「伊勢志摩サミットが開催されるから」と回答

アメリカの大手旅行雑誌
トラベル&レジャー

「2016年に訪れるべき場所」に**日本で唯一**選ばれる!

おすすめは、伊勢志摩国立公園と海岸線、真珠養殖、美味なる松阪牛、神聖なる熊野古道…



Travel + Leisure HP から

「2016年に訪れるべき52の場所」の1つに選ばれる!

ニューヨークタイムズ紙

海外メディアの取材
フィナンシャルタイムズ・ニューズウィーク・BBC・ロイター・AP 他



フィナンシャル・タイムズ紙 5/26記事



国内外メディアの知事へのインタビュー等の件数
サミット**決定前**1年(H26. 6~H27. 5) **20**件
サミット**決定後**1年(H27. 6~H28. 5) **127**件

約6倍



サミット開催決定による効果④



三重テラス MIE TERRACE

◆ 平成25年9月28日 オープン

買う(1階 ショップ)

地域ならではの物語という付加価値をつけて販売

食べる(1階 レストラン&カフェ)

三重の産直食材や地域の「旬」の食材にこだわったメニュー

体験する(2階 イベントスペース&ラウンジ)

三重の文化や伝統を紹介するセミナーや首都圏企業との商談会などを随時開催



三重テラス 外観



2階 イベントスペース&ラウンジ



1階 ショップ



1階 レストラン&カフェ



- ・オープン以降の来館者数
1, 647, 728人(平成28年5月末時点)
- ・サミット決定後の平成27年6月から平成28年5月までで
来館者数が、対前年度比35.2%増加(717, 362人)
売り上げは、対前年度比27.8%増加!
昨年12月の売り上げは過去最高を記録!
- ・サミット開催後の平成28年6月以降も
6月の来館者が、対前年度比30.9%増加
6月から8月の来館者数も、対前年度比10.4%増加
- ・メディアへの露出増
全国放送ではテレビ朝日「グッドモーニング」、日本テレビ「シューイチ」他 首都圏版でもNHK「首都圏ネットワーク」他

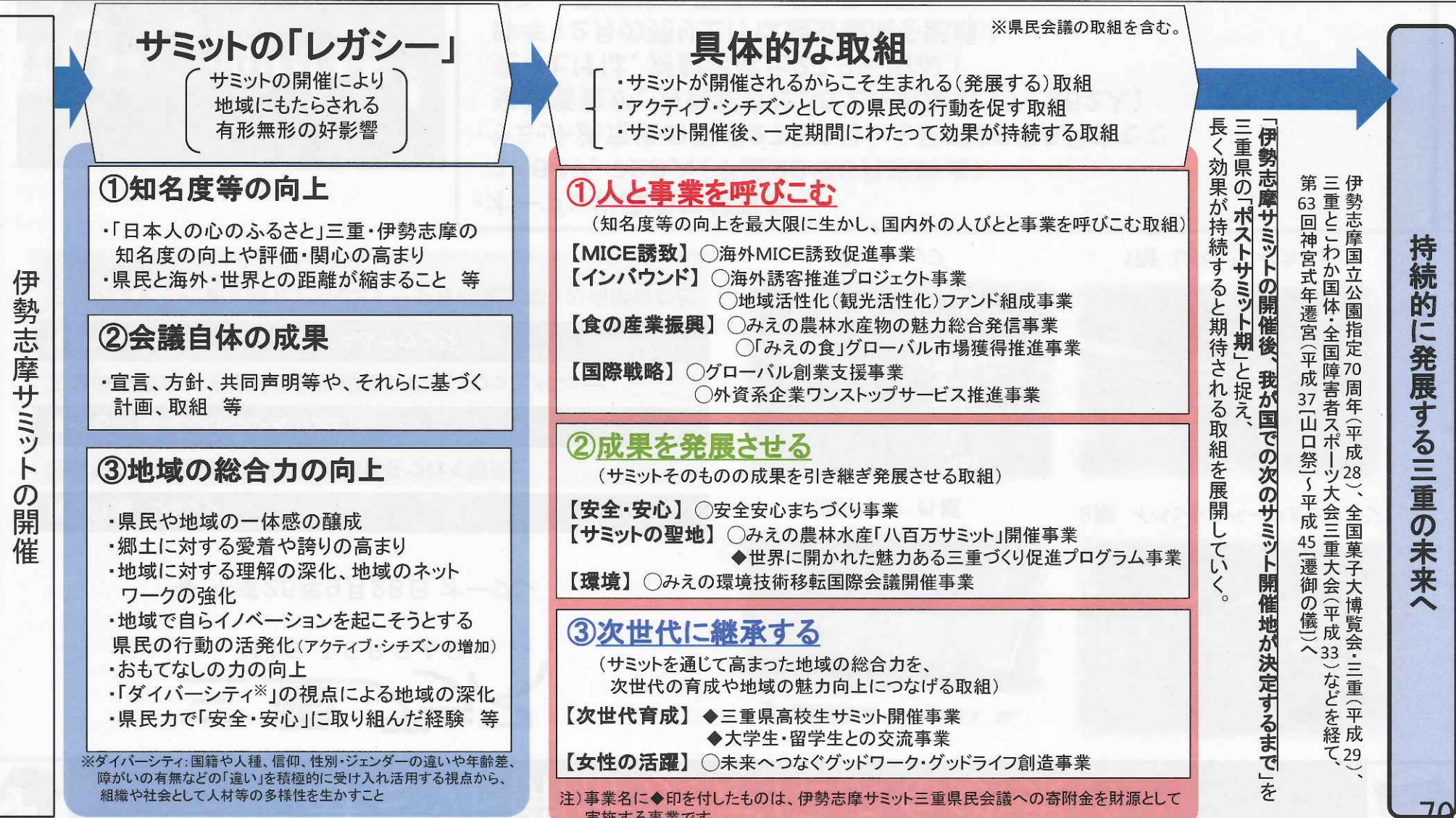


ポストサミットに向けて



サミットの開催は三重にとって千載一遇のチャンスであり、これを一過性にせず、サミットの資産を次世代に継承していかなければなりません。
 ⇒三重県における「ポストサミット」を、《サミットの「レガシー」を三重の未来に生かすこと》と定義し、そのために具体的な取組を展開していきます。

サミット開催に向けた「オール三重」による取組は、県民の皆さんがサミットの成果を地域の発展のために生かそうとする行動や、地域をより良くしようとする行動へとつながります。そのことにより、**地域の活力・魅力が高まって、観光やビジネスなどのさまざまな分野で三重が世界から選ばれるようになり、それが次代を担う若者や子どもたちの希望につながっていく**という「正のスパイラル」が生まれ、地域の自立かつ持続的な活性化が図られます。そのように、**サミットのレガシーを最大限に生かし、三重の未来を持続的に発展させていく**ことが、「ポストサミット」の基本的な考え方です。



※ダイバーシティ：国籍や人種、信仰、性別・ジェンダーの違いや年齢差、障がいの有無などの「違い」を積極的に受け入れ活用する視点から、組織や社会として人材等の多様性を生かすこと

注）事業名に◆印を付したものは、伊勢志摩サミット三重県民会議への寄附金を財源として実施する事業です。

☆サミットのテーマ決定、開催成果を受けて、ポストサミットの考え方をさらに進化させ、あわせて関連取組を検討します。